

認知症と生きがいについて

認知症というと、脳が萎縮した結果として認知機能が低下するというイメージを持たれている方も多いと思います。本日皆さんに共有したいのは、アルツハイマー型認知症に関する大規模な研究、有力な海外誌に掲載された生きがいと認知機能の低下に関する論文です。

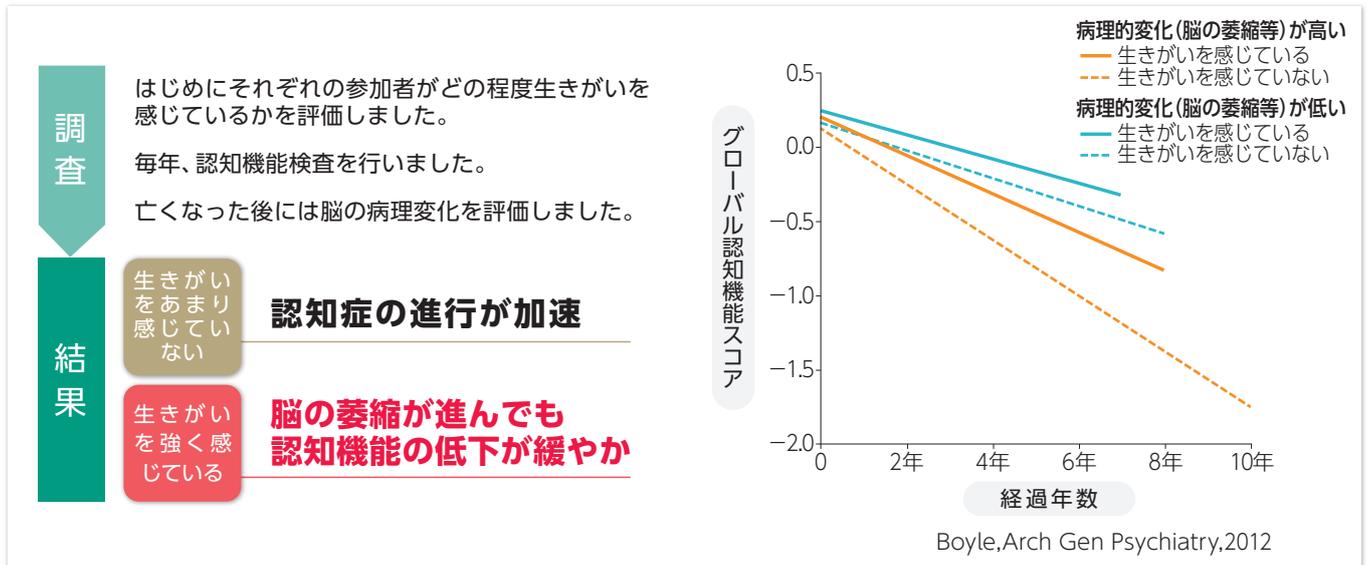


本日の講師 **医療法人すずらん会たろうクリニック院長 精神科医 医学博士 内田 直樹 先生**

認知症の専門医として在宅医療に携わられた一方で、福岡市を認知症フレンドリーなまちとする取り組みを行なっている。NPO地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク常任理事、みんなの認知症情報学会理事など、認知症や在宅医療に関わる団体において役職多数。最近では自らプログラミングを学び、テクノロジーの活用にも積極的である。

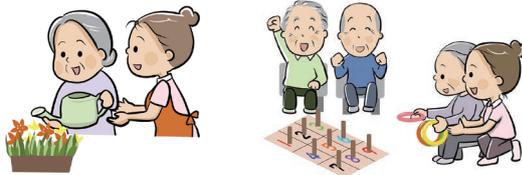
生きがいを感じている人ほど認知機能の低下は穏やか

2012年に権威ある医学誌(精神医学)に発表された「認知症」と「生きがい」に関する研究論文です。



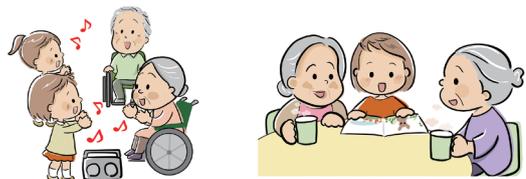
その他の認知症に関する論文

1



社会参加活動をしているほど認知症発症リスクが59%低い
人との接点が多いほど認知症発症リスクが43%低い

2



自分と背景が同じ人とのつながりよりも、
異なる人とのつながりをもつことが認知機能低下を抑制する

新型コロナウイルスの感染拡大下でリスクの高い高齢者から社会のつながりや役割が奪われる状況が続いています。認知症のある人から役割や生きがいを奪わないという視点も持ち続けたいと考えています。

「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

監修: 医療法人すずらん会たろうクリニック院長 精神科医 医学博士 内田 直樹 先生



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 03-6737-7777 (代表)

www.axa.co.jp/

お問合せ先・担当者